

総務委員会

令和2年9月2日（水）

午前10時00分～午前10時44分

議会第1会議室

【出席委員】松永幹哉委員長、村岡 卓副委員長、西岡真一委員、白倉和子委員、  
久米勝博委員、松永憲明委員、中山重俊委員、福井章司委員、  
平原嘉徳委員

【欠席委員】なし

【委員外議員】なし

【執行部出席者】

・総務部 池田総務部長  
ほか、関係職員

【案件】

・付託議案について

○松永幹哉委員長

おはようございます。それでは、総務委員会を開催いたします。

ただいまから採決に入りたいと思います。

まず、お伺いします。当委員会に付託された第80号議案について……

○福井委員

ちょっといいですか。実は採決に入る前に、ぜひお願いしたいことがありまして、委員会の審議の中で、特に間仕切りの問題について、かなり時間を使って議論というか、質問させていただきましたが、若干、本当にあと二、三点だけ再度確認させていただきたいと思っておりますので、もし皆さん方の御同意を得られれば、再度執行部を呼んでいただいて確認させていただけないでしょうかということ御提案でございます。

○松永幹哉委員長

採決に入ります前に、昨日、委員会の審査は終わったんですけども、福井委員からもう一回確認したい点があるということで執行部の出席を求められておりますけれども、皆様いかがいたしましょうか。よろしいですか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

それでは、採決に入る前に再度、消防防災課の分について執行部から説明を求めたいということでもありますので、そのように段取りいたします。

暫時休憩いたします。

◎午前10時01分～午前10時10分 休憩

○松永幹哉委員長

それでは、総務委員会を再開いたします。

執行部の皆様には急にお呼び立てしまして、対応いただきましてありがとうございます。

それでは、第80号議案について幾つか質問があるということでもありますので、審議を再開し、継続していきたいと思えます。

○福井委員

すみません。本当に緊急にお呼びいたしまして。

今回の分について、総務部4の資料にありますように、この間仕切りの分についての導入の数量が1,145と、こういうふうになっているということでもありますので、まず1点目としては、今回の間仕切りの数と、そして、ベッドについては、基本的にマット等々であるということ yesterday の答弁でございましたので、マット等の数が合うのかどうか、そこを改めて確認させていただきたいというのが1点でございます。

2点目が、昨日も実はNHKをたまたまずっと見ておりましたら、避難所と災害という問題の中で議論といいますか、話があった中に、災害に関しての皆さん方の対応としては、プライバシーの保護というのは最優先であるというふうなことを語られておりますし、事実上、それはまさに最優先するべきであろうというふうに思えます。

たまたま今回の総務部の資料で見させていただきました分のプラスチック間仕切りについては、高さ120センチメートル、130センチメートルであると。保健師に確認したら、健康確認はそれぐらいがいいんだというお話であります。やはり基本的には最優先すべきはプライバシー保護ということであろうと思えますので、その辺の、例えば間仕切りの部品等々の導入については、それを最優先すべきだろうと思えますので、そこの認識を改めて——昨日の議論の中では、それもあまりみたいな雰囲気でありましたので、それは最優先されるべきと思えますし、そういった点で、本来ならば佐賀市の自治会でありますとか、そういう方たちの対応、御意見を聞きながら判断すべきだろうと思えますし、その辺が、時間がなかったことであらうでしょうか。とにかく形状とか、あるいはまた保健師の意見に従っておられますので、そのプライバシー保護についての認識を私は最優先すべきと思えますが、そこの認識をお伺いしたい。

3番目は、今回のそういう予算が上がっておりますけれども、具体的な導入についての中身については、ちょうどこの予算審議の後に、可決された場合は業者選定等はこれから行っていくという、要するに検討をこれからするというふうなことでよろしいですね。その辺の確認です。

以上3点だけ確認させていただいて、すみません、大変お忙しい中に、議会としても採決の直前でございますけど、改めて確認させていただいた次第です。よろしく申し上げます。

○消防防災課防災対策係長

まず、最初のマットの数量ということでございますけれども、エアマットについては2万枚を既に備蓄いたしておりますので、全ての区画に2名ずつ入られたとしても、まず、1

日は当然大丈夫ということで、また、複数日その状況が続いて入れ替わったとしても大丈夫だという認識であります。

続いてプライバシー保護についてですが、おっしゃるとおり、プライバシー保護というのを重視しなければならないということで、いろんな方法、先ほどおっしゃったような囲いの部分ですね。そういったところでプライバシーを保護しなければならないというところもあろうかと思っております。

昨日、我々ももう一度いろんな物品見直しをさせていただきました。高さとか、あるいはそういう形状ですね。逆に、カーテンの部分が透けないようにするものとか、そういったものがないかというのも考えさせていただきました。今回御提供いただいた資料などを基に、そういったところも検証したいと思っておりますし、最後の3番と重複しますけれども、業者選定に当たっては、我々としてはこれから検討したいと思っておりますので、その中でもう一度、素材、それから、プライバシー保護についても重視しながら考えていきたいというふうに思っております。

高さについても、実際にどの高さがいいのか、あるいは、全てのものを一画的にするのではなくて、例えば、1つの避難所にいろんな種類のを置くとか、そういったことも含めて検討、検証していきたいというふうに思っておりますので、今のところ、今回御提案した参考品で決定というつもりは毛頭ございませんので、改めて検討させていただき、業者選定を行い、仕様の設定をしていきたいというふうに考えております。以上です。

○白倉委員

災害対応前にお疲れさまです。ちょっと1点、先ほど福井委員からの2番、3番においては理解いたしました。1番の間仕切りの数とマットの数が合うのかというところ、要するにマットが十分足りているのかというところで、今、エアマットが2万枚というふうに答弁されましたが、私、昨日までの説明では、段ボールベッドが50と、簡易ベッドが50と、それとマットが250で、ロールマットがあるというふうにメモしているんですが、エアマット2万枚というのは、私は今初めて聞いた数値なんですが、その説明をお願いできますでしょうか。

○消防防災課防災対策係長

今回、6月の補正をお願いしたもので購入したものが、先ほど委員おっしゃったマットでございます。エアマットについては、従前から体育館とか、板の間になりますので、そういったところで横になっていただくためのものということで私どものほうで備蓄していたものでございます。空気を入れて膨らませて、厚みはそれほどありませんが、横になっていただくことができるものというふうに考えております。従前から備蓄していたものということでございます。

○白倉委員

避難所に私も何かの折に行くことはあるんですが、避難所で今までも使われていました

かね。普通のブルーシートみたいなマットとか、ちょっとしたあれとか。厚みの余りないので見かけたこともあるんですが、その分のことですか。

それと、エアマット自体の備蓄は、今現在どこに置いていて、かつ、今度9月の予算づけで間仕切りの部分、それはある意味連動して配備すると考えていいのかというのが1点。

それと、そのエアマット自体で、例えば、簡易ベッドとか段ボールベッドとかが言われているのは、高齢者とか身体の障がいのある方たちの部分、もちろん床から高いという意味のコロナ対策もありますが、エアマットでもって高齢者の方とか障がいのある方とかも補完すると考えておられるのかどうか、そこをお願いいたします。

○杉町消防防災課長

まず、配置の部分ですけれども、昨日も説明したところですが、この間仕切りと、また、先ほど言いましたエアマットですね、こちらについては同じように、基本的に公民館のほうに配置していきたいというふうに考えております。

それで、高齢者等の支援を要する方に対しては、このエアマットでいいのかというところですが、このエアマットは厚みが10センチメートル程度なんですよね。空気を入れて膨らまして、人が寝る長さ、幅ぐらいに広げて、基本的に硬いところに寝たときにクッション性があるようにということで、そういうものを置くということで使うものであって、どちらかというと先ほど言われました高齢者等支援を要する方は、やはりある程度高さがもっとあったほうがいいというのはありますので、そういう方は先ほども言いました段ボールベッドとか簡易ベッドとか、必要な方にはそういう分を使用しながら避難所の対応をしていきたいというふうに思っているところです。

○白倉委員

そうしましたら、昨日も聞きましたけれども、高齢化率を考えても圧倒的に、まして避難所に出向かれるといたら、まず高齢者の方とか障がい者の方、いざとなったときになかなか動きにくい方なんかを誘導していくわけですが、今、備蓄のある6月定例会で予算措置された分の段ボールベッド50、簡易ベッド50で、とりあえず足りると思いますでしょうか。

○杉町消防防災課長

数的には、確かにこれで全部が足りるというふうには考えておりませんが、まずはこの数から、今後は少しずつ増やしていくことも考えていかなければいけないというふうには考えております。

○中山委員

先ほど福井委員が言われたのと同じテレビを私も見ていましたけど、やっぱり女性からするとプライバシーの問題ですね。高さ、最低1メートル80センチぐらいないと、やっぱりのぞかれるというか、そういうのが非常に困るというようなものがあっていましたので、そこら辺をぜひ考えていただきたいと思います。女性の方が多分インタビューに答えてあ

りましたので、よろしく申し上げます。以上です。

○松永幹哉委員長

それでは、再審議の中でエアマットの保管枚数が2万枚ということと、プライバシー及び今後購入することについては再検討していくという答弁がありましたけれども、それで皆さんよろしいでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

それでは、第80号議案について、再審議をこれで終わらせていただきます。

執行部の皆さんありがとうございました。お疲れさまでした。

◎執行部退室

○松永幹哉委員長

それでは、採決に入ってよろしいでしょうか。

○福井委員

できれば10分ぐらい時間を取らせていただいて、再確認を。

○松永幹哉委員長

今、福井委員から時間をいただきたいとのことですけれども、皆様よろしいでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

それでは、10時40分に再開するというので、暫時休憩いたします。

◎午前10時22分～午前10時41分 休憩

○松永幹哉委員長

それでは、総務委員会を再開いたします。

ただいまから採決に入ります。

まず、お伺いいたします。当委員会に付託された第80号議案について反対意見はございますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

反対意見はないようですので、第80号議案について簡易採決を行いたいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

異議なしとのことですので、そのように採決を行います。

お諮りします。当委員会に付託された第80号議案について、可決することに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

異議なしと認めます。よって、第80号議案は可決すべきものと決定いたしました。

以上で当委員会に付託された議案の採決を終了いたしました。

次に、本会議での委員長報告についていかがいたしましょうか。

○福井委員

なかなか委員長もしにくいようなところもあるかもしれませんが、できれば報告していただいて、特に最終部分の辺の言われたようなところを全体に、要するに執行部に対して、その辺はお示しいただければありがたいなと思っていますけど。

○松永幹哉委員長

ほかにご覧いませんか。方向性としては、委員長報告をするという方向で……

(「よろしく申し上げます」と呼ぶ者あり)

そういうことで進んでいきたいと思います。

あと内容については、正副委員長でよろしいでしょうか。

(「お願いします」と呼ぶ者あり)

それでは最後に、委員会の会議録が公開されることに伴い、委員会における字句、数字その他の整理についてお諮りします。本委員会の会議録の字句、数字その他の整理については委員長に委任されたいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

異議なしとのことですので、委員長に委任することに決定いたしました。

次回の委員会は、明日9月3日木曜日の午前9時から4常任委員会による連合審査会を大会議室で開催予定としておりますけれども、台風が接近しているということでもありますので、この後、執行部と正副議長で話合いの上、決定された結果を議員宛てにメールをされると思います。変更の可能性もありますので、随時メールを確認しながら、日程のほうには注意していただきたいと思います。

以上をもちまして本日の総務委員会を終了します。お疲れさまでした。